

生徒たちと向き合う先生方へ

～生徒たちが安心・安全に学校生活を送るために～

学習や部活動などを軌道に乗せ効果的に行うためには、まず生徒たちの現状を理解し、教師との信頼関係や生徒たち同士の間人間関係を築くことが大切です。

まずは、生徒たちが「**学校は楽しい**」「**学校には信頼できる先生方がいる**」「**学校には共に頑張る仲間たちがいる**」と思えるようになることが大切です。生徒たちとの信頼関係を築き、先生方の温かいメッセージが伝わるように、下記のポイントを今一度見直しましょう。



埼玉県マスコット 「さいたまもち」

ポイント① よく観察する

生徒たちは、新型コロナウイルス感染症に関する心配や学校生活に関する心配などによりストレスがかかっています。また、そのストレスへの反応は個人個人によっても違いがあります。まずは、生徒たちの状況をよく観察することから始めます。



埼玉県マスコット 「コバトン」

ポイント② 話をよく聴く

生徒たちは、先生方に話を聴いてほしいと思っています。視線を合わせて、相づちをうちながら聴くことによって生徒に「自分に関心を向けてくれている」「共感してくれている」といった安心感を与えるよう努めます。



ポイント③ 一人一人の自己肯定感を高める

生徒たちが表現しようのない不安感を抱えていても、それは発達途上で誰にでも起こりうることです。先生方がそのような感情を受け止め、ありのままを認めることにより、生徒たちは「見てくれている」「大事にされている」と感じ、自己肯定感を高めることにつながります。



ポイント④ 生活のルールを定着させ、授業などに向かわせる

急に授業を始めるのではなく、生徒一人一人の状況も考慮しつつ、学校生活という集団の秩序を再構築することの重要性に気付かせてあげることも重要です。日々の活動への見通しをもたせるとともに、生徒たちの実態に合わせて指導方法を工夫することで、学校生活のルールを定着させ、落ち着いた学習環境をつくります。



ポイント⑤ 生徒同士の共感的な人間関係を育ませる

学級や学年という集団としての取組をとおして、生徒の生活習慣を整えさせるといった本来の学校の教育力を効果的に活用し、生徒同士が相手の気持ちを受け取ったり、相手に気持ちを伝えたりといった共感的な人間関係を育ませます。